地域少子化対策重点推進交付金(国令和6年度補正予算分) 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **鏡石町** (都道府県: **福島県**)
 本事業の担当部局名 **企画財政課**

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業				
区分	重点メニュー				
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進				
個別事業名	鏡石町婚活支援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続		
実施期間	令和7年4月1日	~	令和8年3月31日	事業開始年度	令和 3 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	190,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通</p> <p>全国的な少子高齢化に伴い、当町でも平成22年をピークにゆるやかに人口減少が進んでいる。その一方で、現在も一定数のファミリー層や若い世代の流入があり、近年(H23年からH30年)の人口動態の状況を見ると自然動態による減少であった。しかし、令和2年度の出生数は75人となり、これまで毎年100人近くの出生数であったのが大幅に減少しており、子どもを産み育てることに不安を持つ親が増えていることから、総合的な少子化対策が必要とされている状況である。町内の婚姻数は大幅に低下しているわけではないが、婚姻届け提出時の年齢が以前より高いことから、若い世代に対しての出会いの場の提供や、将来のライフプラン等についてを考える機会を十分に与える機会が少ないことも課題の1つであると考えられる。</p> <p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)</p> <p><当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 過年度に引き続き町単独の婚活イベントの実施による、出会いの場の創出を重点的に行う。実施後にはイベント参加者に対し、イベント参加時の意気込み(結婚願望の有無等)、イベントの内容についての要望等のアンケート調査を行い、今後のイベント実施の際により効果的な取り組みを行えるようにする。 また、結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 過年度に引き続き町単独の婚活イベントの実施による、出会いの場の創出を重点的に行う。実施後にはイベント参加者に対し、イベント参加時の意気込み(結婚願望の有無等)、イベントの内容についての要望等のアンケート調査を行い、今後のイベント実施の際により効果的な取り組みを行えるようにする。</p> <p>(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が参加しやすい、興味を惹くイベント内容の検討。 ・移住定住の観点も含め町のPRもできるような婚活イベントに取り組む。 				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	福島県との自治体間連携による婚活イベントの開催	出会いや結婚を希望する町内、福島県内在住者に対し婚活イベントを開催する。開催にあたっては、外部委託せず町単独でのイベントを検討しており、イベント講師についてはこれまでのイベント内で繋がりのできた人物を招き、下記のとおり実施する。福島県と連携できる内容(周知等)については依頼する。 また、婚活イベントとの有機的な連携として、福島県マッチングシステム「はぴ福なび」の登録出張会を実施する。 ・婚活イベント(対面) 【内容】昼食を伴う料理教室 【参加目標人数】男女各8名~10名(最大20名) ・イベントに係る広報 ①チラシの配布 ※公共施設、商業施設、商工団体 ②自治体の広報誌、HP、SNS、への掲載 ③地域情報誌への記事掲載	○	○
	2				
	3				
<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>令和6年度に単独で実施したイベントの成果や参加者アンケートに基づき、周知方法、イベント内容等について検証し、より効果的な実施方法について検討する。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>特になし</p>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		つどいの(子育て)広場の利用者数		人	2,500 (R7)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.43 (R5)	
	婚姻件数		件	37 (R5)	
	婚姻率			3.07 (R5)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	婚活イベントの参加目標人数	%	16 (R7)	14 (R5)
	2	募集定員に対する参加者数の割合	%	100 (R7)	93 (R5)
	3				
	(アウトカム)				
	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業)	%	100 (R7)	100 (R5)
	2	婚活イベント成立数	%	4 (R7)	3 (R5)
3					
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>県(ふくしま結婚支援事業推進協議会)とは、地域の実情・課題や取り組みを共有し、地域における今後の取組についてを協議することで、本町において効果的かつ効率的に結婚支援に取り組むことができると考えている。令和7年度については、町主催婚活イベント時に、県の「はぴ福なび」の出張登録相談会を実施することで、より結婚に意欲的な参加者に対してのサポート体制を強化することができる。また、協会のPRを図ることで協会内で周知されている県内各市町村の婚活イベント等の情報を入手する機会が増え、出会いの場の創出に繋がる。</p>				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>地元企業・経済団体等への周知(チラシ・ポスター等の配布等)</p>				

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。
- ①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題
- ②当年度の少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け
- ③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。
- ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
- ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
- ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。